

東中通信

未来を切り拓く力の育成—自主・共生・挑戦—

R7藤岡東中 学校通信

発行:令和8年1月8日

発行者:校長 永田伊知郎



あけましておめでとうございます

令和8年がスタートしました。

今年の干支は「午(うま)」で、十干十二支43番目の「丙午(ひのえうま)」です。情熱や勢いが高まり、新しいことへの挑戦が良い結果に繋がる年とされています。一方で、ご存じの方も多いと思いますが、60年前の1966年(丙午)の全国出生数が前年比で50万人も少なかったという歴史的な出来事もありました。これは、江戸時代の逸話から「丙午に生まれた女性は気性が荒く、夫を不幸にする」という迷信が影響し、生み控えがあったと考えられています。いわゆる現代でいうフェイクニュースがもとになっているということです。令和を生きる私たちは、クリティカルシンキング(批判的思考)で物事を判断していきたいものです。

さて今年度は、14日間の冬休みでした。生徒は、この間、自分の課題に取り組みながら各家庭で充実した年末年始を過ごしたことだと思います。教科の課題はもちろんですが、部活動やクラブの大会で汗を流した生徒もたくさんいたようです。大変お疲れさまでした。また、多くの3年生にとっては、入試などを控え、例年とは違った緊張感のある冬休みだったのではないかと思います。東中学校では、3学期も「未来を切り拓く力の育成」を目標として、様々な教育活動に取り組んでいきます。授業や部活動などを通して生徒とともに楽しい時間を創っていくことはもちろん大切ですが、自分にとって苦手なことや試験などの壁になるもの、人間関係のトラブルなどを乗り越えていくことも、これから的人生をたくましく生きる力につながるという思いをもってかかわっていきたいと思います。保護者の皆様には、引き続きご理解とご協力を願いいたします。

書き初め大会 1/7

1月7日(水)、日本文化・慣習に触れるとともに、作品を相互に鑑賞することで豊かな情操を育てることをねらいとして、校内書き初め大会を行いました。1時間余りでしたが、生徒一人一人が新年の抱負を胸に、自分自身と向き合いながら真剣に取り組む様子が見られました。

各学年の代表作品は、1月24(土)、25日(日)「ふじまる」に展示されます。

